

平成28年度 歯科検診結果



むし歯の罹患状況

学年	1年	2年	3年	全校
人数	179	194	210	583
検査人数	171	187	196	554
むし歯なし人数	107	117	105	329
処置済み人数	33	39	53	125
未処置人数(乳歯・永久歯)	31	31	37	99
処置完了者率(%)	19.3	20.9	27	22.6
処置数				
乳歯	21	13	7	41
永久歯	67	143	230	440
むし歯の本数				
乳歯	17	14	1	32
永久歯	59	72	81	212
要注意乳歯数	13	7	6	26
要注意乳歯人数	11	5	3	19
要観察歯保有者	49	49	79	177
要観察歯数	100	106	186	392
歯周疾患要観察者	13	21	60	94
歯周疾患保有者	2	2	4	8
歯垢若干付着者	35	43	45	123
歯垢相当付着者	1	3	3	7
歯石付着者	15	14	29	58

痛くなる前に、受診をしよう！
むし歯は治りません！！
早く受診すれば痛みも治療回数も少なくて、すみます。

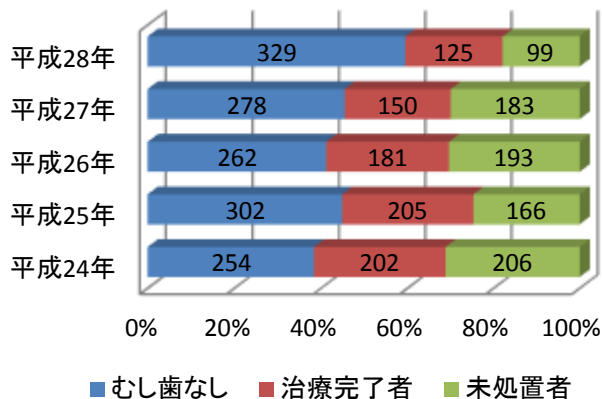


男子に歯垢付着者・歯周疾患観察者が多い

※**要観察歯**：むし歯になりかけている永久歯。注意深くブラッシング(歯みがき)をすることによって予防できます。このままにしておけば、将来むし歯になる歯です。

※**歯周疾患要観察者**：歯肉に軽度の炎症があるが、歯垢はない。注意深いブラッシングを行うことで、炎症が、消失します。このままにしておけば将来歯周疾患(歯肉・歯槽膿漏)になる歯肉です。

年度別検診結果の推移



むし歯保有者は激減しました。治療のお勧めは4回行ったことや保健常任委員会やHP等での呼びかけで昨年度より受診率は向上しました。その結果、今年度はむし歯保有者が例年に比べても大幅に激減しました。今年度は、1年生にむし歯がない生徒が多かったです。その反面、一人で5本以上むし歯のある生徒もいます。

むし歯だと診断された生徒は早めの受診をお勧めします。むし歯は放置すればどんどん進行していきます。

また、歯肉に炎症を起こしている生徒は17%で増加傾向です。すでに歯周疾患にかかっている生徒は8名もいます。

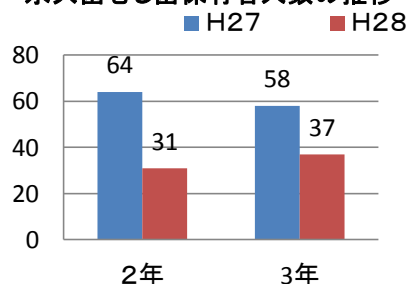
要観察歯(むし歯になりかけている歯で白くにごっている歯)が多くあります。特に奥歯の他、上前歯に多いです。放置すれば将来むし歯になる歯です。これは適切な歯みがきで予防できます。また、食事やおやつのとりの時間も決めて食べるなどむし歯予防の食べ方も気をつけたいものです。

むし歯や歯周疾患の原因である歯垢が付着している生徒は23%います。歯石付着者は10%います。毎年増加しています。歯みがきは、しているけれどみがけている歯みがきはできていないようです。自分の歯の形に合わせて確実に実施できるようにしたいものです。歯石は歯科医院での除去が必要です。早目の受診を。

歯周疾患になりかけている生徒は17%とこれも増加傾向です。歯周疾患者は8人もいました。一度むし歯になると、もう元の健康な歯には戻りません。症状が軽いうちに、早めに受診する事をお勧めします。



永久歯むし歯保有者人数の推移



H27年度とH28年度のむし歯保有者人数の推移を比較したところ、2年生は1年生時と比べ半数に激減し、3年生も減少しました。

7/9*